

1. 科目名 (単位数)	高齢者福祉論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP1101 SCMP1301
2. 授業担当教員	近藤 重晴		
4. 授業形態	講義、グループレポート作成と発表、ディスカッション、小テスト	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>人類の長年の願望だった長寿化社会の実現が先進国のみならず開発途上国でも見られる現象となった。現在日本は、少子高齢化の影響で人口の減少と介護人材の不足が社会問題となっており、社会が健全に発展するためには、少子・高齢社会の的確な現状の把握と問題の本質を理解し、ニーズに基づいた積極的な対応が必要である。</p> <p>本講義では、第1に、人口構造と世帯構成、高齢者の精神的・身体的状態、経済的状态など高齢者を取り巻く環境について理解を深める。第2に、高齢者福祉の発展過程として高齢者福祉制度の萌芽から老人福祉法、現在に至るまでの変化について検討する。第3に、支援が必要な虚弱高齢者、予防高齢者と要介護高齢者の現状、公的サービスの現状と問題点などについて把握する。第4に、介護保険法に規定されている介護に関連する介護予防と各種サービス、ケアマネジメント、終末期ケアなど諸事項に関する法律について、現状と問題点を検討する。最後に、要介護状態になっても住み慣れた地域や選好する場所で生活し続けるためには、どのような政策や実践が必要であるかを地域で調査を実施し、社会に貢献できることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口学的特徴とライフサイクルの観点から高齢者の生活実態や世帯構成、経済的状況について理解を深める。 2. 高齢者福祉制度の仕組み、発展過程と課題について理解を深め、今後実現可能な政策とは何かを調査する。 3. 公的介護保険制度の現状と問題点について把握し、要介護高齢者の介護ニーズに適切に対応するために解決すべき課題を把握する。 4. 高齢者ニーズを満たす方法として、血縁関係のみならず地域ネットワークの在り方についても理解を深め、高齢者が社会参加を積極的にするためには、どのような環境づくりが必要であるか、調べる。 5. 終末期ケアの在り方 (人間観や倫理を含む) について理解し、高齢者が望む場所で最期を迎えるために、必要な政策と地域ネットワークのありがたを理解する。 6. 介護保険制度の仕組みについて理解を深め、介護サービス事業所の現状と問題点を調査し、改善策を把握する。 7. 相談援助活動において、要介護高齢者の人権を守るための成年後見制度など法制度の内容を理解し、成年後見制度が普及しない理由や問題点を把握する。 8. 本科目は、国家試験科目であり、国家試験に通用するレベルまで実力アップを図ることを目指す。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業内容から、適宜小テストを行う。 適宜、授業内容をまとめ、課題レポートを提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 杉本敏夫・橋本有里子編、『学びを追究する高齢者福祉』教育情報出版。</p> <p>【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規。 *授業中に適宜資料を配布する。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢社会の理解と高齢者の特徴について理解されているのか 2. 高齢者と関連した法律や制度について理解されているか 3. 介護保険制度 (財政やサービス等) について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への積極的な参加度 (討議や発表など) : 40% 2. 課題レポート及び予習ノート : 30% 3. 総括テスト : 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>受講生に期待される学習態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には自分なりの問題意識や課題を持って、積極的な態度で授業に参加することが望まれる。 2. 授業のための予習は必ずし、ノートを整理すること。 3. 理解できないことや疑問点がある場合は必ず質問すること。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではない。 4. 人が発言している時には、他の受講生は静かに傾聴すること。 5. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないこと。 6. レポート等の提出期限を厳守すること。提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点の対象とする。 7. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等、学習活動を妨げる行為は厳禁とする。 		
13. オフィスアワー	<p>オフィスアワーは講義時間の前後で受け付ける。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 高齢者・高齢化とは何か	事前学習	高齢や老いの定義等について調べる。
		事後学習	高齢や老いの定義が自分の言葉で説明できるようにまとめる。

第2回	高齢者の生きがいと社会参加	事前学習	テキスト P14 から P20 を読んで、高齢者の生きがいと社会参加の重要性についてを予習しておく。
		事後学習	高齢者の生きがいと社会参加について、まとめ復習する。
第3回	高齢者の生活の現状と課題	事前学習	テキスト P22 から P30 を読んで、高齢者の現状と課題を予習しておく。
		事後学習	高齢者の現状と課題をまとめ復習する。
第4回	高齢者福祉の発展	事前学習	テキスト P32 から P36 を読んで、高齢者福祉の歴史、及び諸外国の高齢者福祉についてを予習しておく。
		事後学習	高齢者福祉の歴史について、まとめ復習しておく。
第5回	高齢者の特性および症状	事前学習	テキスト P38 から P48 を読んで、高齢者のライフサイクルについて予習しておく。
		事後学習	高齢者のライフサイクルについてまとめ復習する。中間課題レポートを提出する。
第6回	高齢者介護の現状と家族支援	事前学習	テキスト P50 から P64 を読んで、家族支援の重要性についてを予習しておく。
		事後学習	家族支援の重要について、まとめ復習しておく。
第7回	高齢者ケアのあり方	事前学習	テキスト P66 から P74 を読んで、高齢者の尊厳や専門職の倫理などの内容を予習しておく。
		事後学習	高齢者の尊厳について。まとめ復習しておく。
第8回	高齢者にかかわる法制度① 老人福祉法	事前学習	テキスト P76・P77 を読んで、老人福祉法についてを予習しておく。
		事後学習	老人福祉法について、まとめ復習する。
第9回	高齢者にかかわる法制度② 高齢者虐待防止法	事前学習	テキスト P78・P79 を読んで、高齢者虐待防止法の内容を予習しておく。
		事後学習	高齢者虐待の実態をまとめ復習する。
第10回	高齢者にかかわる法制度③ 権利擁護と成年後見制度	事前学習	テキスト P88・P89 を読んで、権利擁護、成年後見制度の内容を予習しておく。
		事後学習	高齢者の権利擁護について、まとめ復習する。中間課題レポートを提出する。
第11回	介護保険制度① 概要	事前学習	テキスト P96 から P104 を読んで、介護保険制度の概要を予習しておく。
		事後学習	介護保険制度の概要をまとめ復習する。
第12回	介護保険制度② サービス内容	事前学習	テキスト P106 から P120 を読んで、介護保険制度のサービス内容を予習しておく。
		事後学習	介護保険制度におけるサービスの内容をまとめ復習する。
第13回	高齢者福祉における相談援助	事前学習	テキスト P142 から P150 を読んで、相談援助の方法を予習しておく。
		事後学習	相談援助の方法について、まとめ復習する。
第14回	高齢者の住まいの在り方	事前学習	テキスト P152 から P166 を読んで、高齢者の居住問題についてを予習しておく。
		事後学習	高齢者の住居問題の実態をまとめ復習する。
第15回	高齢者福祉について まとめ	事前学習	これまで学習した知識の復習をしておく。
		事後学習	授業内容をまとめる。課題レポートを提出する。